

60. 当院における悪性リンパ腫に対する同種移植の後方視的解析

研究の概要

化学療法のみでは根治が期待しにくい悪性リンパ腫に対して、ある程度抗がん剤が効いた場合は一般に自家造血幹細胞移植が選択されます。しかし、自家移植では移植前に十分にリンパ腫が抑えられていない限り再発リスクが高いため、化学療法が効かない悪性リンパ腫に対しては根治と長期生存を目指して同種造血幹細胞移植を行います。

研究の目的と方法

2006年1月より2018年12月までに当院で悪性リンパ腫に対して同種移植を行った16歳以上の患者様を対象として、移植後3年での無再発生存率及び全生存率を主要評価項目として解析を行います。病気が治って長期間生存できる可能性に対して、移植前、移植後のどのような因子が影響をあたえるかを、カルテデータ、移植データをもとに後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間：当院倫理委員会承認～2020年3月31日（調査対象期間：2006年1月～2019年3月）

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

血液内科 河北敏郎

当院における研究責任者

血液内科 河北敏郎

問い合わせ先

血液内科 河北敏郎

TEL: 096-353-6501